



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

掲示板法話

仏さまの視線においてこそ

「悲しみ」に共感できる子が育つ



青空にこいのぼりが泳ぐ季節。今年もこどもの日が巡ってきました。子供たちの健やかな成長を願う思いは昔も今も変わりありませんが、子供たちの育つ環境は随分変わってきました。

少子化問題がもつばら、人口減少や社会保障制度の側面から問題とされる昨今、どんな子供に育てたらよいのか、子育ての質的環境については余り関心がもたれないのはいかなるものか、と思われまます。

大人は子供に何か教えてやろうと構えているが、純粹無垢な姿からはとて気がされることも多いのです。

一歳と一ヶ月を越えた孫がよちよち歩きを始めました。待ちに待った日が来たのです。ところが足取りはぎこちなく、バリアフリーになっていない寺の庫裏は危なっかしくて仕方ありません。おまけに好奇心旺盛ですからどこへ向かって歩き出すか、分かったものではありません。体勢を崩して転んだり、何かでおでこをぶつけて泣きべそをかくなど、お守り役は全く気の休まるいともありません。

そうこうする間に、お肉仏の前にやってきました。素早く、おりんのバチをつかんで、「リーン、リーン、リーン……」と打つこと三、四回。小さな手をちよこんと合わせて「まんまん、あん……」。「よし、よし、亮ちゃんえらい、えらい」と撫でてやると、私の手をつかんで引つ張ります。「そうか、そうか、じいちゃんも『まんまん、あん』するんだね」と促された一幕でした。

孫に教え込もうとしているこの育爺に「念仏もうさるべし」と逆に導かれる嬉しくも有難いひとときです。

先日ラジオの短歌コーナーで、素晴らしい歌を知りました。その日の歌題は「卵」でした。

保育園児の孫卵とる

「ごめんねとにわとりさんに謝って
選者の先生は「素晴らしいですね。この歌はおばあちゃんや小さな孫に教えられた感動を詠まれたのですね。私たち大人がとても気づくことのできない『にわとりさんの悲しみ』をこの幼子は大人に教えてくれているのですね」とコメントされました。まさに「負うた子に

☆行事ご案内☆

◇総会 & 『公開法座』

5月19日(日) 午前10時・総会
午後1時 『公開法座』

講師 末本弘然先生(大阪、初)

大ベストセラー本『新・仏事のイロハ』の著者
大好評『御堂さん』編集長、分かりやすいお話にご期待を！

◇キッズサンガ

5月4日(土)午後4時より『集い』お経、ゲーム等
新しいお友達もぜひどうぞ。毎日5時の鐘つき誰でも可
善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、トップページの左
欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見
られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。
開設4年9ヶ月で10万6千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、一
面お問い合わせ欄よりのメールや悩み相談には即返信します

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ
お電話を！5人の僧侶が週替わりで担当、3分間で法話が聞けます

三重組コーラス 5月7日(火)午後1時半、西勝寺様にて練習
5/20(月)午後 三重組仏婦総会出演(平尾)

※5月13日午前・午後『三重組十三日講』西勝寺様(林史樹先生)
※5月11日(土)夜7時三重組門徒推進員総会・研修会(善正寺にて)
※5月22日名古屋別院、東海教区仏婦総会

写真 アラカルト



亮爾誕生祝い



樹と亮爾、ご対面



鐘つきの子供たち



坊守スケッチ

人間の「モノサシ」はこんなもの

有吉佐和子著『青い壺』という小説が面白いと友人から勧められ、早速読んだ。あらずじを簡単に紹介しよう。

小説は、青い壺が次々に人手に渡る13話から構成される。ある日陶芸家の省造は青くて美しい壺を焼き上げた。しばらく手元に置きたいと考えたが、骨董屋が「古色をつけてくれたら高値で引き取りたい」という。古色の申し出にショックを受けたが、妻は別のデパートの美術品担当者に売ってしまった。青い壺は、定年記念のお礼品としてすぐに売れた。その後青い壺は次々に人から人へと渡った。最後はスペインから日本へ持ち帰ったという古美術の鑑定家の手元へ渡った。鑑定の世界では超一流と評される彼は「異国の地で病気になるが何とかなるか」とか頑張ったのは、この素晴らしい壺に出会ったからだ。これは掘り出し物で、12世紀中国で作られた名品だ」と語る。彼の見舞いに訪れた省造は「これは10年前に自分が焼き上げたものだ」と恐る恐る告白した。しかし鑑定家は「刻印がない」と反論。「自分の刻印は釉薬で流れて消えた」と説明したが、取り合ってもらえなかった。それ以後省造は、自分の失敗作でも人助けになったと思っ、刻印を押すのを止めようと決意したという小説だ。

これとは全く逆の事例が実際アメリカであったと、3月新聞報道された。ニューヨークで行われた競売で、元値がわずか3ドル(290円)だった器が、実は中国の北宋時代(10~12世紀)の逸品と判明し、約220万ドル(2億1千万円)の高額で落札された。CNNテレビが伝えた。出品者は2007年夏、自宅近くのガレージセルでこの器を購入して、自宅居間に飾っていた。出品者の依頼を受けて査定した大手競売会社と、他4社が競合して、予想価格を10倍以上も上回る値がつきロンドンの卸売商が落札した。予期せぬ大金を得た出品者。まさに棚からボタモチ!幸運の持ち主だ。世間の評価というものは、一概にしてこういうものかもしれない

この二つの相反する事例から、人間の「モノサシ」は実にいい加減なものがあるかが分かる。本当に値打ちがあるものは、長い時間を経ても、住む場所は違っても、変わるものではない。私達は他人の評価に惑わされるような生き方をしていないだろうか?ニセモノを本物と信じ込んで、当てにする生き方。逆に本物でありながらも、真の値打ちに気付かないまま当たり前と見過ごす生き方。まさしく猫に小判。真に値打ちあるものは、形や数字で表すことはできない。目に見えるものでもない。そういうものこそ、私達の人生には大切にしなければならぬ。人の優しさ、思いやり、ご恩等を有難く受けて止められる「仏様のモノサシ」を身に着けたいものだ。



☆寄稿
四日市市 川崎孝一
☆亮爾ちゃん 樹ちゃん達 稚児にして 従兄弟の絆 育みいよよ
☆白寿とぞ 罹災の老女 矍鑠と 白髪染めする 生き様凄
☆八十に満つ 連添い編みし 服を着て 撮るツーショット 婿と娘の☆ポーズとり 小道具駆使し 替え歌を カラオケに乗せ 法説く講師
四日市市 釈 妙 水
☆紅梅や 吾子足がつき 誕生日
☆三重組コーラス♪
☆5月7日(火) 午後練習 西勝寺様 5/20午後仏婦総会出演(平尾)

☆キッズサンガ・杉の子合唱団
夕方5時の鐘つきは年中無休。ご褒美当り付きガム。誰でも撞けるよ
☆5月4日(土) 4時 お経ゲーム他 新しのお友達大募集!誰でも参加できます。お経や作法も覚えられます。
☆カンパ有難う☆
伊藤八重子様・他匿名様より頂戴しました。感謝!
お悔やみ申し上げます
★綿田美津子様(3月24日・80歳)
四日市市(合掌)

ホットニュース

☆向こう4年間の新世話方の選挙が行われました。新しい顔ぶれは5月19日午前の総会で発表します。
☆5月19日午後「公開法座」の講師末本弘然先生(初)の著書『新仏事のイロハ』は大ベストセラーです。仏事のことが誰でもすぐに分かるように解説。ご法話は勿論本もお楽しみに!
☆「都道府県別幸せ度ランキング」1位福井県2位富山県3位石川県・三重県は9位、最下位は大分県。北陸三県が上位3位を独占。広い屋敷大家族、浄土真宗の御法議が浸透した土地柄が所以でしょうか?
【平成25年度今後の善正寺行事予定】
※5月19日(日)午前総会・午後「公開法座」講師末本弘然師(大阪)(初)
※8月24(土)・25(日)『秋季永代経』講師足利孝之師(尼崎)
※9月22日(日)午前・午後『小杉町仏教会追悼法要』講師鎌田宗雲師(滋賀)
※11月2日(土)午後・夜3日(日)午前『報恩講』講師藤大慶師(京都府)
※11月23日(土)午前秋勧進
※12月7日(土)夜『お内仏報恩講』
※12月31日夜11時45分除夜の鐘
◇その他、毎月第3日曜日夜7時半より『門信徒会例会』
★編集子より ☆
『善正寺だより』233号をお届けします。◇春寒の時期が続きましたが、皆さん体調は如何でしょうか。朝夕仏様に「挨拶し、心身共に健康な毎日を!

風薫る新緑の季節となりました。お元氣ですか？息子
達夫婦に各々男児が誕生し、私は二人の孫のオバアオン
一歳の亮爾はヨチヨチ歩き、生後3ヶ月の樹は笑う
ようになりました。子供の成長は我が老いを忘れる程
早く驚きと発見の毎日です。日本では少子化が懸念
され、子供の教よりペットの教の方が多いたか、老後孫守
りを手伝える幸せを喜んでいきます。先日あるお宅の
家庭法座に参加しました。仏事が簡素化する時代
自宅には沢山の参拝客で溢れていました。家族が丸
となってお世話され、近所さんも協力、おもてなしの心に
満ちていました。農繁期直前に開催される家庭
法座、お寺の垣根を取り払い、住職、坊守、門徒とい
う立場の違いを越えて、間法したいということ、人同士が大
勢集いました。長い間ずっと続けてこられたご当主夫妻
の尊いお志とご尽力に頭が下がりました。ここに「浄土
真宗の底力」を発見し、本来のあるべき姿を見える
思いがしました。寺離れの時代と嘆いていたことを反
省し、坊守として多くのことを学ばせて頂きました。
孫の時代にもしつかり仏法が伝わるように尚一層精進
します。5月19日(日)午前は総会、午後は「公開法座」
ベストセラ^{目新}「仏事のイロハ」の著者末本弘然先生(天
をとお迎えします。初のご出講、楽しみながら法座です。新
世話方も送迎された新たなスタート、皆様のご参詣をお
待ち申し上げます。 合掌

平成二十五年五月

善正寺坊守 拝